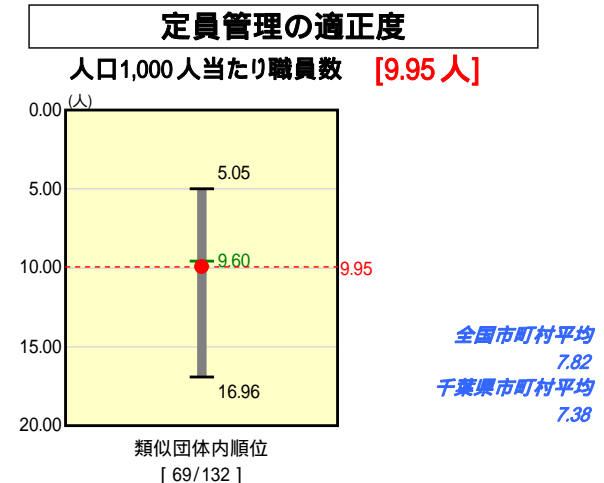
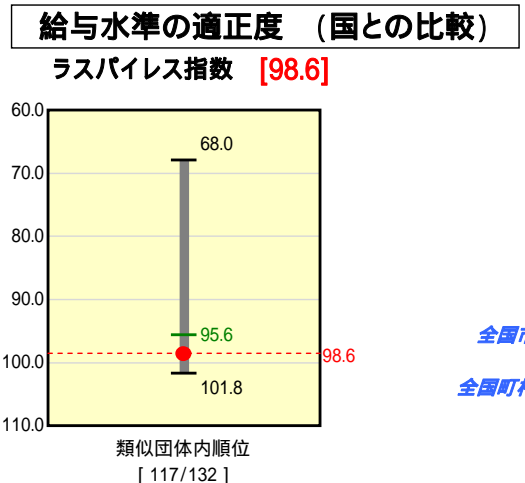
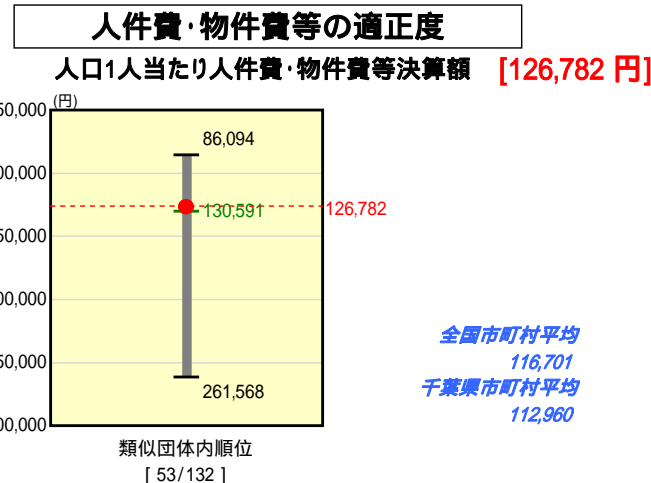
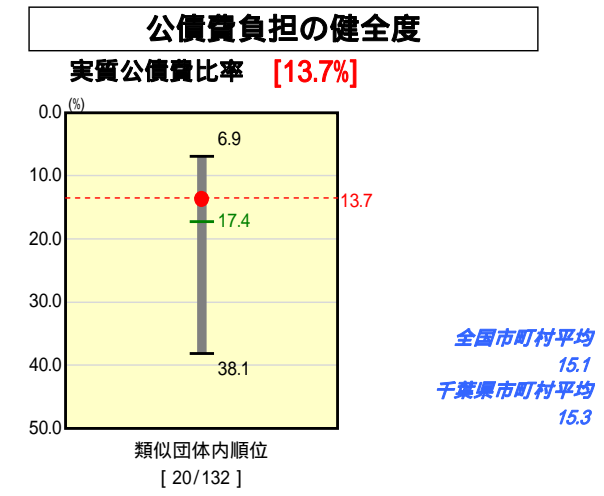
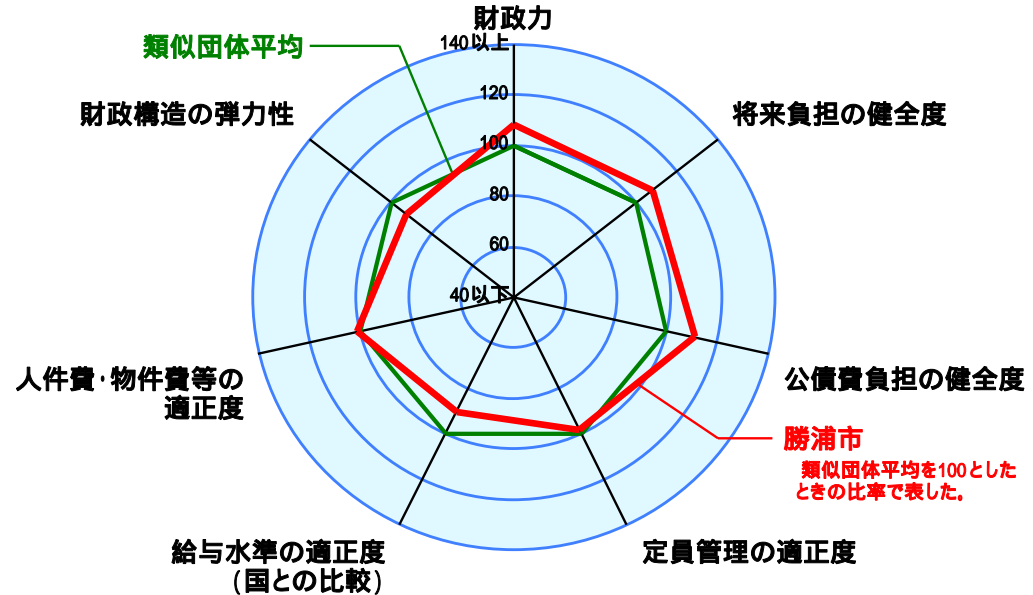
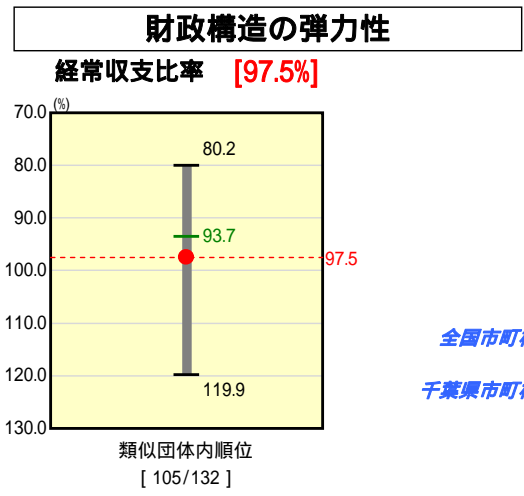
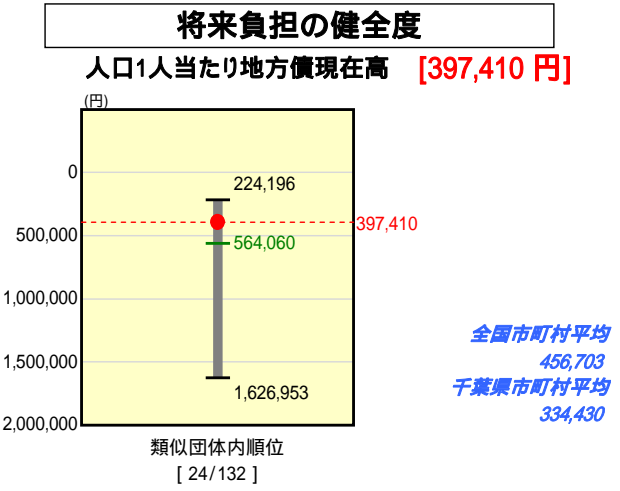
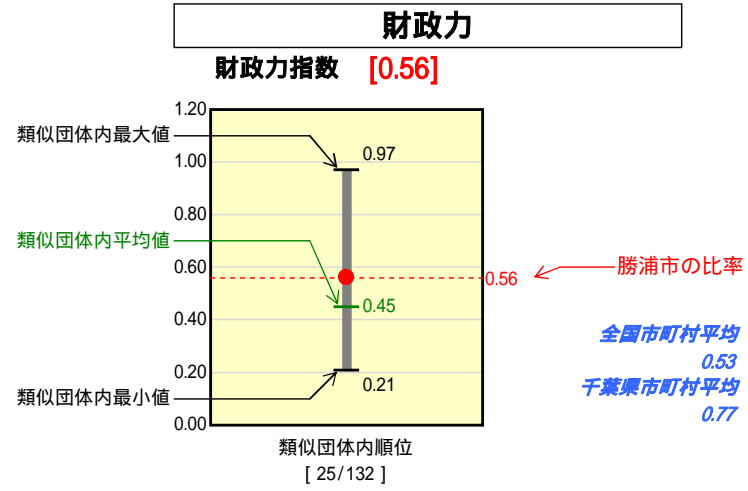


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 勝浦市

人口	21,906 人(H19.3.31現在)
面積	94.20 km ²
歳入総額	7,519,023 千円
歳出総額	7,283,091 千円
実質収支	232,819 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 所得譲与税が増額したものの、所得の伸び悩みが影響し市税が減額した結果、前年度と比較し0.01ポイント下落した。このため、収納率の向上や滞納整理の効果的推進を図り、歳入確保に努める。

経常収支比率: 定員適正化計画に基づく退職不補充等の措置を講じ、人件費は減額したものの、扶助費、公債費の増額その他、減税補てん償の減額が影響し、前年度と比較し2.7ポイント上昇した。類似団体内の比較においても平均値を上回っているため、引き続き定員適正化計画の推進、市債における新規発行の抑制等、義務的経費の削減に努める。

実質公債費比率: 債務負担行為に基づく支出のうち、公債費に準ずる補助金が減額したため、前年度に対し、1.0ポイント改善した。今後、同水準を維持するよう、投資的経費に係る新規発行額を抑制するため、計画的な事業執行はもとより、事業規模の精査を行い、事業費の圧縮に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体内平均値を下回っているが、将来的に老朽施設の耐震化等、新規発行に伴う増加が見込まれることから、長期的な財政圧迫を回避するよう累増の抑制に努める。

ラスパイレズ指数: 平成18年度において行政改革大綱に基づく特殊勤務手当の見直しを実施したが、依然、類似団体内平均値を上回っており、前年度比較において0.7ポイント上昇した状況である。このため、民間委託の推進、事務事業の再編整理等を実施し、引き続き、適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数: 定員適正化計画の推進に伴い、前年度より0.34人改善が図れたものの、依然、類似団体内平均を上回る要因として、ごみ・し尿処理施設の単独設置や市内7箇所の保育所に配置している職員数があげられる。この改善策として、平成17年度策定した行政改革大綱に基づき、保育所の統合をすすめるとともに、定員適正化計画の一層の推進を図り定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体内平均値を下回っているが、ごみ・し尿収集業務並びに給食配送業務の完全民間委託等を進めてきた結果、物件費は上昇傾向にある。このため平成17年度に策定した行政改革大綱に基づき、小規模小学校、保育所の統合をはじめ、事務事業の廃止、縮減をはかり物件費の削減に努める。